



show コマンド

この章では、Cisco Nexus Virtual Services Appliance の **show** コマンドについて説明します。

show aaa accounting

AAA アカウンティング設定を表示するには、**show aaa accounting** コマンドを使用します。

show aaa accounting

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、アカウンティング設定を表示する例を示します。

```
n1010# show aaa accounting
      default: local
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。
show aaa groups	設定されている AAA サーバグループを表示します。

show aaa authentication

AAA 認証の設定を表示するには、**show aaa authentication** コマンドを使用します。

show aaa authentication [login error-enable | login mschap]

構文の説明	
login error-enable	(任意) 認証ログイン エラー メッセージ イネーブル コンフィギュレーションを表示します。
login mschap	(任意) 認証ログイン MS-CHAP イネーブル設定を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、設定された認証パラメータを表示する例を示します。

```
n1010# show aaa authentication
      default: local
      console: local
```

次に、認証ログイン エラーイネーブル設定を表示する例を示します。

```
n1010# show aaa authentication login error-enable
disabled
```

次に、認証ログイン MSCHAP 設定を表示する例を示します。

```
n1010# show aaa authentication login mschap
disabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show aaa accounting	AAA アカウンティングの設定を表示します。
	show aaa groups	設定されている AAA サーバグループを表示します。

show aaa groups

設定されている AAA サーバ グループを表示するには、**show aaa groups** コマンドを使用します。

show aaa groups

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、AAA グループ情報を表示する例を示します。

```
n1010# show aaa groups
TacServer
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa accounting	AAA アカウンティングの設定を表示します。
show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。

show accounting log

アカウントティングのログ内容を表示するには、**show accounting log** コマンドを使用します。

show accounting log [*size*] [*start-time year month day HH:MM:SS*]

構文の説明	<i>size</i>	(任意) 表示するログのサイズ (バイト単位)。有効な範囲は 0 ~ 250000 です。
構文の説明	<i>start-time year month day HH:MM:SS</i>	(任意) 開始時刻を次のとおりに指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 年 (year) は yyyy 形式で指定します (例: 2009)。 • 月 (month) は 3 文字の英語略称で指定します (例: Feb)。 • 日 (day) は 1 ~ 31 の範囲内の数字で指定します。 • 時、分、秒 (HH:MM:SS) は標準的な 24 時間形式で指定します (例: 16:00:00)。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、アカウントティング ログ全体を表示する例を示します。

```
n1010# show accounting log
Wed Jul 22 02:09:44 2009:update:vsh.3286:root:configure terminal ; port-profile Unused_Or_Quarantine_Uplink ; capability uplink (SUCCESS)
Wed Jul 22 07:57:50 2009:update:171.71.55.185@pts/2:admin:configure terminal ; flow record newflowrecord (SUCCESS)
Wed Jul 22 08:48:57 2009:start:swordfish-build1.cisco.com@pts:admin:
Wed Jul 22 08:49:03 2009:stop:swordfish-build1.cisco.com@pts:admin:shell terminated gracefully
Wed Jul 22 08:50:36 2009:update:171.71.55.185@pts/2:admin:configure terminal ; no flow record newflowrecord (SUCCESS)
Thu Jul 23 07:21:50 2009:update:vsh.29016:root:configure terminal ; port-profile Unused_Or_Quarantine_Veth ; state enabled (SUCCESS)
Thu Jul 23 10:25:19 2009:start:171.71.55.185@pts/5:admin:
Thu Jul 23 11:07:37 2009:update:171.71.55.185@pts/5:admin:enabled aaa user default role enabled/disabled
doc-switch(config)#
```

次に、アカウントティング ログの 400 バイトを表示する例を示します。

```
n1010# show accounting log 400
```

■ show accounting log

```
Sat Feb 16 21:15:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 18:31:21
Sat Feb 16 21:15:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 21:15:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
```

次に、2008年2月16日の16:00:00に開始するアカウントリングログを表示する例を示します。

```
n1010(config)# show accounting log start-time 2008 Feb 16 16:00:00
```

```
Sat Feb 16 16:00:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 15:59:16
Sat Feb 16 16:00:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:00:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:00:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:01:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:00:16
Sat Feb 16 16:01:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:01:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:01:29 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:02:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:01:16
Sat Feb 16 16:02:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:02:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear accounting log</code>	アカウントリングログを消去します。

show banner motd

設定されているバナー メッセージを表示するには、**show banner motd** コマンドを使用します。

show banner motd

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されているバナー メッセージを表示する例を示します。

```
n1010(config)# show banner motd
April 16, 2008 Welcome to the Switch
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner motd	Message of the Day バナーを設定します。
switchname	スイッチ プロンプトを変更します。

show boot

システムとキックスタートのブート変数を表示して確認するには、**show boot** コマンドを使用します。

show boot [auto-copy [list] | sup-1 | sup-2 | variables]

構文の説明

auto-copy	(任意) 自動コピーをイネーブルにするかどうかを決定します。
list	(任意) 自動コピーするファイルの一覧を表示します。
sup-1	(任意) sup-1 VSM 設定を表示します。
sup-2	(任意) sup-2 VSM 設定を表示します。
variables	(任意) ブート変数のリストを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、システムとキックスタートのブート変数を表示して確認する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# show boot

sup-1
kickstart variable =
bootflash:/nexus-1000v-kickstart-mzg.4.0.4
.SV1.2.bin
system variable =
bootflash:/nexus-1000v-mzg.4.0.4.SV1.2.bin
sup-2
kickstart variable =
bootflash:/nexus-1000v-kickstart-mzg.4.0.4
.SV1.2.bin
system variable =
bootflash:/nexus-1000v-mzg.4.0.4.SV1.2.bin
No module boot variable set
n1010(config)#
```


関連コマンド

コマンド	説明
reload module	Virtual Supervisor Module (VSM) をリロードします。
show version	VSM のソフトウェア バージョンを表示します。

show cdp

Cisco Discovery Protocol (CDP) の設定を表示するには、**show cdp** コマンドを使用します。

```
show cdp {all | entry {all | name name} | global | interface interface | traffic interface
traffic-interface}
```

構文の説明

all	CDP データベースのすべてのインターフェイスを表示します。
entry	データベース内の CDP エントリを表示します。
name <i>name</i>	名前に一致する特定の CDP エントリを表示します。
global	全インターフェイスに対する CDP パラメータを表示します。
interface <i>interface</i>	特定のインターフェイスに対する CDP パラメータを表示します。
traffic interface <i>traffic-interface</i>	CDP トラフィックの統計情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、グローバル CDP 設定を表示する例を示します。

```
n1010(config)# show cdp global
Global CDP information:
  CDP enabled globally
  Sending CDP packets every 5 seconds
  Sending a holdtime value of 10 seconds
  Sending CDPv2 advertisements is disabled
  Sending DeviceID TLV in Mac Address Format
```

次に、指定したインターフェイスの CDP 設定を表示する例を示します。

```
n1010(config)# show cdp interface ethernet 2/3
Ethernet2/3 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds\
```

次に、指定したインターフェイスの CDP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
n1010(config)# show cdp traffic interface ethernet 2/3
-----
Traffic statistics for Ethernet2/3
Input Statistics:
  Total Packets: 98
  Valid CDP Packets: 49
    CDP v1 Packets: 49
    CDP v2 Packets: 0
  Invalid CDP Packets: 49
    Unsupported Version: 49
    Checksum Errors: 0
    Malformed Packets: 0

Output Statistics:
  Total Packets: 47
    CDP v1 Packets: 47
    CDP v2 Packets: 0
  Send Errors: 0
```

次に、全インターフェイスに対する CDP パラメータを表示する例を示します。

```
n1010# show cdp all
Ethernet2/2 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/3 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/4 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/5 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
Ethernet2/6 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
mgmt0 is up
  CDP enabled on interface
  Sending CDP packets every 60 seconds
  Holdtime is 180 seconds
```

関連コマンド

コマンド	説明
cdp advertise	アドバタイズする CDP バージョンを割り当てます。
cdp enable	インターフェイス モードでは、特定のインターフェイスに対して CDP をイネーブルにします。EXEC モードでは、デバイスに対して CDP をイネーブルにします。
show cdp neighbors	アップストリーム デバイスの設定と機能を表示します。

show cdp neighbors

アップストリーム デバイスの設定と機能を表示するには、**show cdp neighbors** コマンドを使用します。

```
show cdp neighbors [interface {control control-int-number | ethernet slot/port |
                    mgmt mgmt-int-number}] detail
```

構文の説明

interface name	(任意) インターフェイスの CDP ネイバーを指定します。
control	制御インターフェイスを指定します。
control-int-number	制御インターフェイスを表す番号を指定します。Cisco Nexus 1010 では control0 だけをサポートします。
ethernet	イーサネット インターフェイスを指定します。
slot/port	イーサネット インターフェイスのスロットとポート番号を指定します。スロット範囲は 1 ~ 66、ポート範囲は 1 ~ 256 です。
mgmt	管理インターフェイスを指定します。
mgmt-int-number	管理インターフェイスを表す番号を指定します。Cisco Nexus 1010 では mgmt0 だけをサポートします。
detail	すべての CDP ネイバーの詳細な設定を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、アップストリーム デバイスの設定と機能を表示する例を示します。

```
n1010 (config)# show cdp neighbors
Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge
                  S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater,
                  V - VoIP-Phone, D - Remotely-Managed-Device,
                  s - Supports-STP-Dispute

Device ID           Local Intrfce   Hldtme   Capability   Platform   Port ID
-----
swordfish-6k-2     Eth2/2         169      R S I       WS-C6503-E Gig1/14
swordfish-6k-2     Eth2/3         139      R S I       WS-C6503-E Gig1/15
swordfish-6k-2     Eth2/4         135      R S I       WS-C6503-E Gig1/16
swordfish-6k-2     Eth2/5         177      R S I       WS-C6503-E Gig1/17
swordfish-6k-2     Eth2/6         141      R S I       WS-C6503-E Gig1/18
```

次に、特定のインターフェイスのアップストリーム デバイスの設定と機能を表示する例を示します。

```

n1010(config)# show cdp neighbors interface ethernet 2/3
Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge
                  S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater,
                  V - VoIP-Phone, D - Remotely-Managed-Device,
                  s - Supports-STP-Dispute

Device ID           Local Intrfce  Hldtme  Capability  Platform  Port ID
swordfish-6k-2     Eth2/3        173     R S I      WS-C6503-E  Gig1/15

```

関連コマンド

コマンド	説明
cdp advertise	アドバタイズする CDP バージョンを割り当てます。
cdp enable	インターフェイス モードでは、特定のインターフェイスに対して CDP をイネーブルにします。EXEC モードでは、デバイスに対して CDP をイネーブルにします。
show cdp	デバイスの CDP 設定と機能を表示します。

show cli variables

ユーザ定義の CLI 固定変数を表示するには、**show cli variables** コマンドを使用します。

ユーザ定義の CLI 固定変数を削除するには、コンフィギュレーション モードで **cli no var name** コマンドを使用します。

show cli variables

cli no var name *name*

構文の説明

name 既存の変数の名前を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ユーザ定義 CLI 固定変数を表示する例を示します。

```
n1010# show cli variables
VSH Variable List
-----
TIMESTAMP="2008-07-02-13.45.15"
testinterface="ethernet 3/1"
```

次に、**mgmtport** という名前のユーザ定義 CLI 固定変数を削除する例を示します。

```
n1010# cli no var name mgmtport
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cli var name	端末セッションのコマンドライン インターフェイス (CLI) 変数を定義します。
run-script	ファイルに保存されているコマンド スクリプトを実行します。

show cores

最新のコア イメージを表示するには、**show cores** コマンドを入力します。

show cores

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

サービスの障害が発生すると、システムのコア イメージ ファイルが生成されます。

例

次に、最新のコア イメージを表示する例を示します。

```
n1010# show cores
Module-num      Instance-num    Process-name    PID            Core-create-time
-----
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes	プロセス ログに関する情報を表示します。

show file

部分的なファイル名を入力し、Tab キーを押して完全ファイル名を表示するには、**show file** コマンドを使用します。

```
show file {bootflash: | volatile: | debug;} partial_filename [cksum | md5sum]
```

構文の説明

bootflash	ディレクトリまたはファイル名を指定します。
volatile:	揮発性フラッシュのディレクトリまたはファイル名を指定します。
debug:	拡張フラッシュのディレクトリまたはファイル名を指定します。
<i>partial_filename</i>	表示されるファイル名の一部分を指定します。 Tab キーを押すと、部分的な名前に一致する既存のファイルがすべて一覧表示されます。
cksum	(任意) ファイルの CRC チェックサムを表示します。
md5sum	(任意) ファイルの MD5 チェックサムを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

部分的なファイル名を入力して **Tab** キーを押すと、入力した文字が単一のファイルに一致する場合、CLI によりファイル名が補完されます。

一致しない場合は、入力した文字に一致するファイル名の選択肢の一覧が表示されます。

その後、ファイル名が一意になるような十分な文字を入力することで、CLI によりファイル名が補完されます。

例

次に、部分的なファイル名を入力し、Tab キーを押して完全ファイル名を表示する例を示します。

```
n1010# show file bootflash:nexus-1000v <Tab>
bootflash:nexus-1000v-dplug-mzg.4.0.4.SV1.0.42.bin
bootflash:nexus-1000v-mzg.4.0.4.SV1.0.42.bin
bootflash:nexus-1000v-kickstart-mzg.4.0.4.SV1.0.42.bin
```


関連コマンド

コマンド	説明
dir	ディレクトリまたはファイルの内容を表示します。
copy	指定したコピー元から指定したコピー先にファイルをコピーします。
mkdir	現在のディレクトリ レベルにディレクトリを作成します。
rmdir	ディレクトリを削除します。

show interface brief

インターフェイス設定の短縮バージョンを表示するには、**show interface brief** コマンドを使用します。

show interface brief

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インターフェイス設定の短縮バージョンを表示する例を示します。

```
n1010# show int brief
-----
Port VRF Status IP Address Speed MTU
-----
mgmt0 -- up 172.23.232.141 1000 1500
-----
Ethernet VLAN Type Mode Status Reason Speed Port
Interface Ch #
-----
Eth3/2 1 eth trunk up none 1000(D) --
Eth3/3 1 eth access up none 1000(D) --
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
interface	インターフェイスの追加、削除、または設定を行います。
show interface capabilities	インターフェイスの機能に関する情報を表示します。
show interface counters	レイヤ 2 スイッチ ポート トランク インターフェイスのカウンタを表示します。
show interface status	インターフェイス ライン ステータスを表示します。

show interface capabilities

インターフェイスの機能に関する情報を表示するには、**show interface capabilities** コマンドを使用します。

show interface capabilities

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インターフェイスの機能に関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show interface capabilities
mgmt0
  Model:                --
  Type:                 --
  Speed:                10,100,1000,auto
  Duplex:               half/full/auto
  Trunk encap. type:    802.1Q
  Channel:              no
  Broadcast suppression: none
  Flowcontrol:          rx-(none),tx-(none)
  Rate mode:            none
  QOS scheduling:       rx-(none),tx-(none)
  CoS rewrite:          yes
  ToS rewrite:          yes
  SPAN:                 yes
  UDLD:                 yes
  Link Debounce:        no
  Link Debounce Time:  no
  MDIX:                 no
  Port Group Members:  none

port-channell
  Model:                unavailable
  Type:                 unknown
  Speed:                10,100,1000,10000,auto
  Duplex:               half/full/auto
  Trunk encap. type:    802.1Q
  Channel:              yes
  Broadcast suppression: percentage(0-100)
  Flowcontrol:          rx-(off/on/desired),tx-(off/on/desired)
  Rate mode:            none
```

show interface capabilities

```

QOS scheduling:      rx-(none),tx-(none)
CoS rewrite:        yes
ToS rewrite:        yes
SPAN:               yes
UDLD:               no
Link Debounce:      no
Link Debounce Time: no
MDIX:               no
Port Group Members: none

port-channel2
Model:              unavailable
Type:               unknown
Speed:              10,100,1000,10000,auto
Duplex:             half/full/auto
Trunk encap. type: 802.1Q
Channel:            yes
Broadcast suppression: percentage(0-100)
Flowcontrol:        rx-(off/on/desired),tx-(off/on/desired)
Rate mode:          none
QOS scheduling:     rx-(none),tx-(none)
CoS rewrite:        yes
ToS rewrite:        yes
SPAN:               yes
UDLD:               no
Link Debounce:      no
Link Debounce Time: no
MDIX:               no
Port Group Members: none

port-channel12
Model:              unavailable
Type:               unknown
Speed:              10,100,1000,10000,auto
Duplex:             half/full/auto
Trunk encap. type: 802.1Q
Channel:            yes
Broadcast suppression: percentage(0-100)
Flowcontrol:        rx-(off/on/desired),tx-(off/on/desired)
Rate mode:          none
QOS scheduling:     rx-(none),tx-(none)
CoS rewrite:        yes
ToS rewrite:        yes
SPAN:               yes
UDLD:               no
Link Debounce:      no
Link Debounce Time: no
MDIX:               no
Port Group Members: none

control0
Model:              --
Type:               --
Speed:              10,100,1000,auto
Duplex:             half/full/auto
Trunk encap. type: 802.1Q
Channel:            no
Broadcast suppression: none
Flowcontrol:        rx-(none),tx-(none)
Rate mode:          none
QOS scheduling:     rx-(none),tx-(none)
CoS rewrite:        yes
ToS rewrite:        yes
SPAN:               yes

```

```

UDLD:                yes
Link Debounce:       no
Link Debounce Time:  no
MDIX:                no
Port Group Members:  none

```

```
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
interface	インターフェイスの追加、削除、または設定を行います。
show interface brief	インターフェイス設定の短縮バージョンを表示します。
show interface counters trunk	レイヤ 2 スイッチ ポート トランク インターフェイスのカウンタを表示します。
show interface status	インターフェイス ライン ステータスを表示します。

show interface counters trunk

レイヤ 2 スイッチ ポート トランク インターフェイスのカウンタを表示するには、**show interface counters trunk** コマンドを使用します。

```
show interface {ethernet slot/port} counters trunk
```

構文の説明	ethernet slot/port	表示するトランク インターフェイスのモジュール番号とポート番号を指定します。
-------	---------------------------	--

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このデバイスでは、IEEE 802.1Q カプセル化のみサポートされます。このコマンドでは、トランク ポート チャネルのカウンタも表示されます。

例 次に、トランク インターフェイスのカウンタを表示する例を示します。ここでは、トランク インターフェイスを介して送受信されたフレーム、および、トランク カプセル化が不適切なフレームの数が示されています。

```
n1010# show interface ethernet 2/9 counters trunk
```

```
-----
Port                TrunkFramesTx   TrunkFramesRx   WrongEncap
-----
Ethernet2/9                0                0                0
n1010#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear counters	インターフェイスのカウンタをクリアします。
	show interface brief	インターフェイス設定の短縮バージョンを表示します。
	show interface capabilities	インターフェイスの機能に関する情報を表示します。
	show interface status	インターフェイス ライン ステータスを表示します。

show interface status

インターフェイスのライン ステータスを表示するには、**show interface status** コマンドを使用します。

show interface status [**down** | **err-disabled** | **inactive** | **module** *module-number* | **up**]

構文の説明	
down	(任意) 停止状態になっているインターフェイスを指定します。
err-disabled	(任意) エラー ディセーブル状態になっているインターフェイスを指定します。
inactive	(任意) 非アクティブ状態になっているインターフェイスを指定します。
module	(任意) 特定のモジュールのインターフェイスだけを表示します。
<i>module-number</i>	既存のモジュールを識別する番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
up	(任意) 稼働状態になっているインターフェイスを指定します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、稼働状態のインターフェイスのライン ステータスを表示する例を示します。

```
n1010# show interface status up
```

```
-----
Port          Name           Status  Vlan    Duplex  Speed  Type
-----
mgmt0         --             up      routed  full    1000   --
ctrl10        --             up      routed  full    1000   --
n1010#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	interface	インターフェイスの追加、削除、または設定を行います。
	show interface brief	インターフェイス設定の短縮バージョンを表示します。
	show interface capabilities	インターフェイスの機能に関する情報を表示します。
	show interface counters trunk	レイヤ 2 スイッチ ポート トランク インターフェイスのカウンタを表示します。

show logging logfile

ログ ファイルの内容を表示するには、**show logging logfile** コマンドを使用します。

show logging logfile [*start-time time* | *end-time time*]

構文の説明

start-time	(任意) 表示するログファイルの範囲の開始時刻を指定します。
end-time	(任意) 表示するログファイルの範囲の終了時刻を指定します。
<i>time</i>	時刻を次のとおりに指定します。
	指定方法 説明
	<i>yyyy</i> 年を指定します。
	<i>mmm</i> 月を指定します (例: <i>jan, feb, mar</i>)。
	<i>dd</i> 日を指定します (例: <i>01</i>)。
	<i>hh:mm:ss</i> 時、分、秒を指定します (例: <i>04:00:00</i>)。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ログ ファイルの内容を表示する例を示します。

```
n1010# show logging logfile start-time 2009 Aug 23 22:00:00 end-time 2009 Aug 24 24:00:00
2009 Aug 23 22:58:00 doc-n1000v %PORTPROFILE-5-SYNC_COMPLETE: Sync completed.
2009 Aug 24 23:53:15 doc-n1000v %MODULE-5-MOD_OK: Module 3 is online (serial: )
2009 Aug 24 23:53:15 doc-n1000v %PLATFORM-5-MOD_STATUS: Module 3 current-status is MOD_S
TATUS_ONLINE/OK
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging logfile	システム メッセージの保存に使用するログ ファイルを設定します。

show logging module

ログ ファイルへのモジュール メッセージのロギングに関する現在の設定を表示するには、**show logging module** コマンドを使用します。

show logging module

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ログ ファイルへのメッセージのロギングに関する設定を表示する例を示します。

```
n1010# show logging module
Logging linecard:          disabled
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging module	ログ ファイルへのモジュール メッセージのロギングを開始します。

show logging server

システム メッセージのロギングに関する現在のサーバ設定を表示するには、**show logging server** コマンドを使用します。

show logging server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、システム メッセージのロギングに関する現在のサーバ設定を表示する例を示します。

```
n1010## show logging server
Logging server:                enabled
{172.28.254.253}
  server severity:             notifications
  server facility:             local7
  server VRF:                  management
n1010##
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging server	システム メッセージのロギングに使用するリモート サーバを使用して、そのサーバを設定します。

show logging timestamp

システム メッセージのタイムスタンプに使用されている単位を表示するには、**show logging timestamp** コマンドを使用します。

show logging timestamp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、システム メッセージのタイムスタンプに使用されている単位を表示する例を示します。

```
n1010## show logging timestamp
Logging timestamp:           Seconds
n1010##
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging timestamp	システム メッセージのタイムスタンプの単位を設定します。

show module

モジュール情報を表示するには、**show module** コマンドを使用します。

show module [*module-number* | **internal** | **ipv6-info** | **uptime** | **vem**]

構文の説明

module-number	(任意) 既存のモジュールを識別する番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 22 です。
internal	(任意) モジュールに関する情報を表示します。
ipv6-info	(任意) サーバの IPv6 アドレスに関する情報を表示します。
uptime	(任意) モジュールが起動して動作している時間を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(2)	VEM オプションが削除されました。
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、モジュール情報を表示する例を示します。

```
n1010# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1    0      Virtual Supervisor Module  Nexus1000V          active *

Mod  Sw                Hw
---  ---
1    4.0(4)SP1(1)     0.0

Mod  MAC-Address(es)          Serial-Num
---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---
1    172.23.232.152    NA                          NA

* this terminal session
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show svcs domain	Cisco Nexus 1010 のドメイン情報（ドメイン ID、コントロール VLAN ID、管理 VLAN ID など）を表示します。
svcs-domain	SVCS ドメインを設定し、SVCS ドメイン コンフィギュレーション モードを開始します。

show network

ネットワークに関する情報を表示するには、**show network** コマンドを使用します。

show network [counters | uplinks | virtual-service-blade *name*]

構文の説明

counters	(任意) ネットワークに関する統計情報を表示します。
uplinks	(任意) アドレス、デュプレックス設定、トラフィックなどのネットワークアップリンクに関する情報を指定します。
virtual-service-blade	(任意) 仮想サービス ブレードに関する情報を指定します。
name	既存の仮想サービス ブレードの名前を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ネットワークに関する統計情報を表示する例を示します。

```
n1010# show network counters
-----
          Port          InOctets    InUcastPkts    InMcastPkts
-----
GigabitEthernet1      87485620         1110644         79637
GigabitEthernet2           0                0                0
GigabitEthernet3      62129278         714059         2144
GigabitEthernet4           0                0                0
GigabitEthernet5      57579524         579127         2138
GigabitEthernet6           0                0                0
      PortChannel1      87485620         1110644         79637
      PortChannel2      119708802        1293186         4282
-----
          Port          OutOctets    OutUcastPkts    OutMcastPkts
-----
GigabitEthernet1      27703018         262330         79637
GigabitEthernet2           0                0                0
GigabitEthernet3       274156           2144           2144
GigabitEthernet4           0                0                0
GigabitEthernet5       273664           2138           2138
GigabitEthernet6           0                0                0
      PortChannel1      27703018         262330         79637
      PortChannel2       547820           4282           4282
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show virtual-service-blade	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
show virtual-service-blade-type summary	仮想サービス タイプと、そのタイプに属する仮想サービスに関する情報を表示します。

show network cdp neighbors

アクティブまたはスタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続を表示するには、**show network cdp neighbors** コマンドを使用します。

show network cdp neighbors

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(3)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続を表示する例を示します。

```
n1010(standby)# show network cdp neighbors
...
Device-ID                Local Intrfce Hldtme Capability Platform      Port ID
-----
sfish-cat3k-K5-stack2 eth2                166    R T B S I r cisco WS-C375 GigabitEthe
rnet1/0/23
```

関連コマンド

コマンド	説明
show cdp	デバイスの CDP 設定と機能を表示します。
show cdp neighbors	アップストリーム デバイスの設定と機能を表示します。
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show network cdp neighbors detail	アクティブまたはスタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続の詳細を表示します。

show network port-channel summary

Cisco Nexus 1010 製品ファミリのネットワークのポート チャンネルに関するサマリー情報を表示するには、**show network port-channel summary** コマンドを使用します。

show network port-channel summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(4)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Cisco Nexus 1010 のポート チャンネルに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
n1010(config)# show network port-channel summary
```

```
-----
Group   Port-Channel Adm-State  Type           Member-Ports
-----
1       PortChannel1  up         ha              Gi1 Gi2
-----
```

関連コマンド

コマンド	説明
show cdp	デバイスの CDP 設定と機能を表示します。
show network	ネットワークに関する情報を表示します。

show network cdp neighbors detail

アクティブまたはスタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続の詳細を表示するには、**show network cdp neighbors** コマンドを使用します。

show network cdp neighbors detail

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(3)	このコマンドが追加されました。

例

関連コマンド

コマンド	説明
show cdp	デバイスの CDP 設定と機能を表示します。
show cdp neighbors	アップストリーム デバイスの設定と機能を表示します。
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show network cdp neighbors	アクティブまたはスタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップリンク接続を表示します。

show ntp peer-status

すべてのネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのステータスを表示するには、**show ntp peer-status** コマンドを表示します。

show ntp peer-status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ドメイン名が解決されるのは、DNS サーバが設定されている場合だけです。

例

次に、設定されているサーバとピアを表示する例を示します。

```
n1010# show ntp peer-status
Total peers : 2
* - selected for sync, + - peer mode(active),
- - peer mode(passive), = - polled in client mode
  remote          local          st poll reach  delay    vrf
-----
=192.0.2.10      0.0.0.0          16  16    0  0.00000 default
+72.229.253.127 0.0.0.0          16  16    0  0.00000 default
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp peer	1 つのピアと 1 つのピア アソシエーションを形成します。
ntp server	1 つのサーバと 1 つのサーバ アソシエーションを形成します。
show ntp peers	すべての NTP ピアを表示します。
show ntp statistics	NTP 統計情報を表示します。

show ntp peers

すべてのネットワーク タイム プロトコル (NTP) ピアを表示するには、**show ntp peers** コマンドを使用します。

show ntp peers

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ドメイン名が解決されるのは、DNS サーバが設定されている場合だけです。

例

次に、設定されているサーバとピアを表示する例を示します。

```
n1010# show ntp peers
-----
Peer IP Address          Serv/Peer
-----
192.0.2.10              Server (configured)
72.229.253.127         Peer (configured)
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp peer	1 つのピアと 1 つのピア アソシエーションを形成します。
ntp server	1 つのサーバと 1 つのサーバ アソシエーションを形成します。
show ntp peer-status	すべての NTP サーバおよびピアのステータスを表示します。
show ntp statistics	NTP 統計情報を表示します。

show ntp statistics

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 統計情報を表示するには、**show ntp statistics** コマンドを使用します。

```
show ntp statistics {io | local | memory | peer {ip-address | dns-name}}
```

構文の説明

io	入力/出力の統計情報を指定します。
local	ローカル NTP によって保持されているカウンタを指定します。
memory	メモリ コードに関連する統計情報カウンタを指定します。
peer	ピアごとの統計情報カウンタを指定します。
<i>ip-address</i>	このピアの IP アドレスを指定します。
<i>dns-name</i>	このピアの DNS 名を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ドメイン名が解決されるのは、DNS サーバが設定されている場合だけです。

例

次に、設定されているサーバとピアを表示する例を示します。

```
n1010# show ntp statistics local
system uptime:          6742265
time since reset:      6742265
old version packets:   0
old version packets:   0
unknown version number: 0
bad packet format:     0
packets processed:     0
bad authentication:    0
packets rejected:      0
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp peer	1 つのピアと 1 つのピア アソシエーションを形成します。
ntp server	1 つのサーバと 1 つのサーバ アソシエーションを形成します。

show password strength-check

パスワードの強度の確認が行われているかどうかを表示するには、**show password strength-check** コマンドを使用します。

show password strength-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、パスワードの強度の確認を行っているかどうかを表示する例を示します。

```
n1010# show password strength-check
Password strength check enabled
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
password strength-check	パスワードの強度確認をイネーブルにします。
role name	ユーザロールに名前をつけて、そのロールのロールコンフィギュレーションモードに切り替えます。
username	ユーザアカウントを作成します。

show processes

すべてのプロセスの状態と開始カウントを表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

show processes [cpu | log | memory]

構文の説明

cpu	(任意) CPU に関連するプロセスを指定します。
log	(任意) プロセス ログに関する情報を指定します。
memory	(任意) メモリに関連するプロセスを指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべてのプロセスの状態と開始カウントを表示する例を示します。

```
n1010# show processes
```

PID	State	PC	Start_cnt	TTY	Type	Process
1	S	77f8a468	1	-	O	init
2	S	0	1	-	O	ksoftirqd/0
3	S	0	1	-	O	desched/0
4	S	0	1	-	O	events/0
5	S	0	1	-	O	khelper
10	S	0	1	-	O	kthread
18	S	0	1	-	O	kblockd/0
35	S	0	1	-	O	khubd
121	S	0	1	-	O	pdflush
122	S	0	1	-	O	pdflush
124	S	0	1	-	O	aio/0
123	S	0	1	-	O	kswapd0
709	S	0	1	-	O	kseriod
756	S	0	1	-	O	kide/0
766	S	0	1	-	O	ata/0
770	S	0	1	-	O	scsi_eh_0
1096	S	0	1	-	O	kjournald
1101	S	0	1	-	O	kjournald
1620	S	0	1	-	O	kjournald
1627	S	0	1	-	O	kjournald
1952	S	77f6c18e	1	-	O	portmap
1965	S	0	1	-	O	nfsd
1966	S	0	1	-	O	nfsd
1967	S	0	1	-	O	nfsd


```

1968      S      0      1      -      O      nfsd
1969      S      0      1      -      O      nfsd
1970      S      0      1      -      O      nfsd
1971      S      0      1      -      O      nfsd
1972      S      0      1      -      O      nfsd
1973      S      0      1      -      O      lockd
1974      S      0      1      -      O      rpciod
1979      S 77f6e468      1      -      O      rpc.mountd
1989      S 77f6e468      1      -      O      rpc.statd
2016      S 77e0e468      1      -      VG      sysmgr
2298      S      0      1      -      O      mping-thread
2299      S      0      1      -      O      mping-thread
2315      S      0      1      -      O      stun_kthread
2316      S      0      1      -      O      stun_arp_mts_kt
2339      S      0      1      -      O      redun_kthread
2340      S      0      1      -      O      redun_timer_kth
2866      S      0      1      -      O      sf_rdn_kthread
2866      S      0      1      -      O      sf_rdn_kthread
2867      S 77f37468      1      -      VU      xinetd
2868      S 77f6e468      1      -      VU      tftpd
2869      S 7788c1b6      1      -      VL      syslogd
2870      S 77ecf468      1      -      VU      sdwrapd
2872      S 77d94468      1      -      VU      platform
2877      S      0      1      -      O      ls-notify-mts-t
2889      S 77eb2be4      1      -      VU      pfm_dummy
2896      S 77f836be      1      -      O      klogd
2903      S 77d9ebe4      1      -      VL      vshd
2904      S 77e41468      1      -      VU      stun
2905      S 77a74f43      1      -      VL      smm
2906      S 77e5a468      1      -      VL      session-mgr
2907      S 77c4e468      1      -      VL      psshelper
2908      S 77f75468      1      -      VU      lmgrd
2909      S 77e36be4      1      -      VG      licmgr
2910      S 77ebe468      1      -      VG      fs-daemon
2911      S 77ec5468      1      -      VL      feature-mgr
2912      S 77e7a468      1      -      VU      confcheck
2913      S 77eb3468      1      -      VU      capability
2915      S 77c4e468      1      -      VU      psshelper_gsvc
2922      S 77f75468      1      -      O      cisco
2937      S 77895f43      1      -      VL      clis
2937      S 77895f43      1      -      VL      clis
2952      S 77cba468      1      -      VL      xmlma
2953      S 77e8b468      1      -      VL      vmm
2955      S 77e80468      1      -      VU      ttyd
2957      S 77ecb6be      1      -      VL      sysinfo
2958      S 77b57468      1      -      VL      sksd
2959      S 77ea7468      1      -      VG      res_mgr
2960      S 77e53468      1      -      VG      plugin
2961      S 77ccf468      1      -      VL      mvsh
2962      S 77e05468      1      -      VU      module
2963      S 77cce468      1      -      VL      evms
2964      S 77ccf468      1      -      VL      evmc
2965      S 77ecc468      1      -      VU      core-dmon
2966      S 7765b40d      1      -      VL      ascii-cfg
2967      S 77ceb6be      1      -      VL      securityd
2968      S 77cb5468      1      -      VU      cert_enroll
2969      S 77b17be4      1      -      VL      aaa
2973      S 77e19468      1      -      VU      ExceptionLog
2975      S 77dfb468      1      -      VU      bootvar
2976      S 77df9468      1      -      VG      ifmgr
2977      S 77ead468      1      -      VU      tcap
2978      S 77a6bf43      1      -      VL      l3vm
2978      S 77a6bf43      1      -      VL      l3vm
2979      S 77a62f43      1      -      VL      u6rib

```

show processes

```

2980      S 77a62f43          1 - VL urib
2981      S 77f30be4          1 - VU core-client
2983      S 77b95468          1 - VL aclmgr
3008      S 77d51468          1 - VU aclcomp
3011      S 7774440d          1 - VL tacacs
3012      S 77a72f43          1 - VL adjmgr
3016      S 77a74f43          1 - VL arp
3021      S 778a1896          1 - VL icmpv6
3022      S 7791ef43          1 - VL netstack
3050      S 7770240d          1 - VL radius
3051      S 77f59be4          1 - VL ip_dummy
3052      S 77f59be4          1 - VL ipv6_dummy
3053      S 7783c40d          1 - VU ntp
3054      S 77f59be4          1 - VL pktmgr_dummy
3055      S 778ae40d          1 - VL snmpd
3056      S 77f59be4          1 - VL tcpudp_dummy
3063      S 7782d40d          1 - VL cdp
3064      S 77b1540d          1 - VL dcos-xinetd
3154      S 77b4040d          1 - O ntpd
3195      S 77e0d468          1 - VL vsim
3196      S 778ee40d          1 - VL ufdm
3196      S 778ee40d          1 - VL ufdm
3197      S 77d42468          1 - VU sf_nf_srv
3198      S 778e240d          1 - VL sal
3199      S 77a14f43          1 - VL rpm
3200      S 778cd40d          1 - VG pltfm_config
3201      S 77efc468          1 - VU pixmc
3202      S 77e0f468          1 - VG pixm
3203      S 77c43468          1 - VU pdl_srv_tst
3204      S 7789e40d          1 - VL nfm
3205      S 77ddc468          1 - VU msp
3206      S 77dbc468          1 - VL monitor
3207      S 7789c40d          1 - VL mfdm
3208      S 7787340d          1 - VL l2fm
3209      S 77dc0468          1 - VL ipqosmgr
3210      S 77e81468          1 - VU ethanalyzer
3211      S 777b740d          1 - VL dhcp_snoop
3212      S 77b3940d          1 - VL dcos-thttpd
3213      S 77c26468          1 - VU copp
3214      S 77b2b468          1 - VL eth_port_channel
3215      S 77d15468          1 - VL vlan_mgr
3219      S 758bc40d          1 - VU vms
3220      S 77b8a468          1 - VL eth-port-sec
3221      S 77abb468          1 - VL stp
3221      S 77abb468          1 - VL stp
3226      S 77de5468          1 - VL lacp
3228      S 777ba40d          1 - VL ethpm
3232      S 77a0127b          1 - VL igmp
3235      S 77dba468          1 - VL private-vlan
3241      S 77d70468          1 - VU vim
3246      S 77d4b468          1 - VU portprofile
3285      S 77f836be          1 1 O getty
3286      S 77f806be          1 S0 O getty
3290      S 77f1deee          1 - O gettylogin1
3308      S 77f836be          1 S1 O getty
3360      S 77ae140d          1 - O dcos_sshd
3361      S 77aaa468          1 8 O vsh
4213      Z 0                  1 - O vmw_maintenance
25188     Z 0                  1 - O vmw_maintenance
31228     Z 0                  1 - O vmw_maintenance
427       Z 0                  1 - O vmw_maintenance
1035      Z 0                  1 - O vmw_maintenance
2439      Z 0                  1 - O vmw_maintenance
7167      Z 0                  1 - O vmw_maintenance

```

```

8246      Z      0      1      -      O vmw_maintenance
8856      Z      0      1      -      O vmw_maintenance
10539     Z      0      1      -      O vmw_maintenance
10539     Z      0      1      -      O vmw_maintenance
16083     Z      0      1      -      O vmw_maintenance
19353     S 77ae140d 1      -      O dcos_sshd
19354     S 7752340d 1      -      O xmlsa
13167     S 77ae140d 1      -      O dcos_sshd
13169     S 77aaa468 1     17     O vsh
14253     S 7798140d 1      -      O in.dcos-telnetd
14254     S 77aaa468 1     18     O vsh
14757     S 7798140d 1      -      O in.dcos-telnetd
14758     S 77a82eee 1     19     O vsh
14933     S 77f426be 1     19     O more
14934     S 77aa9be4 1     19     O vsh
14935     R 77f716be 1      -      O ps
-        NR      -      0      -      VL eigrp
-        NR      -      0      -      VL isis
-        NR      -      0      -      VL ospf
-        NR      -      0      -      VL ospfv3
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL eigrp
-        NR      -      0      -      VL isis
-        NR      -      0      -      VL ospf
-        NR      -      0      -      VL ospfv3
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL eigrp
-        NR      -      0      -      VL isis
-        NR      -      0      -      VL ospf
-        NR      -      0      -      VL ospfv3
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL eigrp
-        NR      -      0      -      VL isis
-        NR      -      0      -      VL ospf
-        NR      -      0      -      VL ospfv3
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL amt
-        NR      -      0      -      VL bgp
-        NR      -      0      -      VL eou
-        NR      -      0      -      VL glbp
-        NR      -      0      -      VL hsrp_engine
-        NR      -      0      -      VU installer
-        NR      -      0      -      VL interface-vlan
-        NR      -      0      -      VU lisp
-        NR      -      0      -      VL msdp
-        NR      -      0      -      VL pim
-        NR      -      0      -      VL pim6
-        NR      -      0      -      VL scheduler
-        NR      -      0      -      VL isis
-        NR      -      0      -      VL ospf
-        NR      -      0      -      VL ospfv3
-        NR      -      0      -      VL rip
-        NR      -      0      -      VL amt
-        NR      -      0      -      VL bgp
-        NR      -      0      -      VL eou
-        NR      -      0      -      VL glbp
-        NR      -      0      -      VL hsrp_engine
-        NR      -      0      -      VU installer
-        NR      -      0      -      VL interface-vlan
-        NR      -      0      -      VU lisp
-        NR      -      0      -      VL msdp
-        NR      -      0      -      VL pim
-        NR      -      0      -      VL pim6

```

■ show processes

```

-      NR      -      0      -      VL  scheduler
-      NR      -      0      -      VU  vbuilder

```

State: R(runnable), S(sleeping), Z(defunct)

Type: U(unknown), O(non sysmgr)
 NR(not running), ER(terminated etc)

n1010#

関連コマンド

コマンド	説明
show module	システムで利用可能なすべての VSM と VEM に関する情報を表示します。
show system redundancy status	システムの HA 状態を表示します。

show running-config diff

実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの違いを確認するには、**show running-config diff** コマンドを使用します。

show running-config diff

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Virtual Supervisor Module (VSM) を他の VSM に切り替える場合、アクティブな VSM で使用可能だった未保存の実行コンフィギュレーションは、新たにアクティブとなった VSM でもまだ未保存のままです。この未保存の実行コンフィギュレーションをこのコマンドを使用して確認し、必要に応じてスタートアップに保存できます。

例

次に、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの違いを確認する例を示します。

```
n1010# show running-config diff
*** Startup-config
--- Running-config
*****
*** 1,38 ****
version 4.0(4)SP1(1)
role feature-group name new
role name testrole
username admin password 5 $1$S7HvKc5G$aguYqHl0dPttBJAhEPwys1 role network-admin
telnet server enable
ip domain-lookup
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
system switchover	アクティブな VSM で、スタンバイ VSM への手動スイッチオーバーを開始します。

show running-config interface ethernet

特定のイーサネットインターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config interface ethernet** コマンドを使用します。

show running-config interface ethernet slot/port

構文の説明	<i>slot/port</i>	既存のイーサネット インターフェイスのスロット番号とポート番号を指定します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。
例	次に、イーサネット インターフェイス 2/1 の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。 <pre>n1010# show running-config interface ethernet 2/1 version 4.0(4)SP1(1) interface Ethernet3/2 inherit port-profile uplink_all</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config interface diff	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの違いを確認します。
	show running-config interface port-channel	ポート チャネルの実行コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

show running-config interface port-channel

特定のポート チャンネルの実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config interface port-channel** コマンドを使用します。

```
show running-config interface port-channel {channel-number}
```

構文の説明

channel-number ポート チャンネル グループの番号。値の範囲は 1 ~ 4096 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ポート チャンネル 10 の実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
n1010(config)# show running-config interface port-channel 10
version 4.0(4)SP1(1)

interface port-channel10
  switchport
  switchport mode trunk
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config interface diff	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの違いを確認します。
show running-config interface ethernet	特定のイーサネット インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。

show snmp

1 つ以上の宛先プロファイルに関する情報を表示するには、**show snmp** コマンドを使用します。

show snmp [**community** | **context** | **engineID** | **group** | **host** | **sessions** | **trap** | **user**]

構文の説明

community	(任意) SNMP コミュニティ スtringを指定します。
context	(任意) SNMP コンテキスト マッピングを指定します。
engineID	(任意) SNMP engineID を指定します。
group	(任意) SNMP グループを指定します。
host	(任意) SNMP ホストを指定します。
sessions	(任意) SNMP セッションを指定します。
trap	(任意) SNMP トラップを指定します。
user	(任意) SNMPv3 ユーザを指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP engineID に関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show snmp engineID
Local SNMP engineID: [Hex] 800000090302000C000000
                      [Dec] 128:000:000:009:003:002:000:012:000:000:000
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server contact	SNMP コンタクト名として sysContact を設定します。
snmp-server location	SNMP ロケーションとして sysLocation を設定します。

show ssh key

Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバ キーを表示するには、**show ssh key** コマンドを使用します。

```
show ssh key [dsa | rsa]
```

構文の説明

dsa	(任意) DSA SSH キーの表示を指定します。
rsa	(任意) RSA SSH キーの表示を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべての SSH サーバ キーを表示する例を示します。

```
n1010# show ssh key  
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ssh server	SSH サーバがイネーブルかどうかを表示します。
ssh key	SSH サーバ キーを生成します。

show ssh server

Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバの設定を表示するには、**show ssh server** コマンドを使用します。

show ssh server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SSH サーバの設定を表示する例を示します。

```
n1010# show ssh server
ssh is enabled
version 2 enabled
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ssh key	SSH サーバ キーを表示します。
ssh	IP を使用してリモート装置との SSH IP セッションを作成します。
ssh key	SSH サーバ キーを生成します。

show startup-config aaa

スタートアップ コンフィギュレーションの認証、許可、アカウントिंग (AAA) プロトコルの設定を表示するには、**show startup-config aaa** コマンドを使用します。

show startup-config aaa

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの AAA 設定を表示する例を示します。

```
n1010# show startup-config aaa
version 4.0(4)SP1(1)

n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa authentication login default	デフォルトの AAA 認証の方式を設定します。
show startup-config security	スタートアップ コンフィギュレーション内のユーザ アカウント設定を表示します。

show startup-config security

スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント設定を表示するには、**show startup-config security** コマンドを使用します。

show startup-config security

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント設定を表示する例を示します。

```
n1010# show startup-config security
version 4.0(4)SP1(1)
username admin password 5 $1$3/cH7rWm$W3QUjfQOyfySds5p3/PtX. role network-admin

username kathleen password 5 $1$7vewiaFA$iLCfmalyKeSBySqrAgvNZ/ role network-op
erator
username kathleen role network-admin
telnet server enable

n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show startup-config aaa	認証、許可、アカウントティング (AAA) プロトコルの設定を表示します。

show svcs domain

Cisco Nexus 1010 のドメイン情報（ドメイン ID、コントロール VLAN ID、管理 VLAN ID など）を表示するには、**show svcs domain** コマンドを使用します。

show svcs domain

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Virtual Supervisor Module (VSM) ドメインの設定を表示する例を示します。

```
n1010# show svcs domain
SVS domain config:
  Domain id: 3555
  Control vlan: 305
  Management vlan: 233
  L2/L3 Control mode: L2
  L3 control interface: NA
  Status: Config not pushed to VC.
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
svcs-domain	Cisco Nexus 1000V のドメインを作成および設定します。ドメインによって、通信および管理のための VSM と Virtual Ethernet Module (VEM) およびコントロール/パケット VLAN が特定されます。

show svs neighbors

すべての SVS ネイバーを表示するには、**show svs neighbors** コマンドを使用します。

show svs neighbors

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべての SVS ネイバーを表示する例を示します。

```
n1010# show svs neighbors

Active Domain ID: 113

AIPC Interface MAC: 0050-56b6-2bd3
Inband Interface MAC: 0050-56b6-4f2d

Src MAC          Type      Domain-id  Node-id    Last learnt (Sec. ago)
-----
0002-3d40-7102   VEM       113        0302      71441.12
0002-3d40-7103   VEM       113        0402      390.77

n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show svs domain	Virtual Supervisor Module (VSM) ドメインの設定を表示します。
svs-domain	Cisco Nexus 1000V のドメインを作成および設定します。ドメインによって、通信および管理のための VSM と Virtual Ethernet Module (VEM) およびコントロール/パケット VLAN が特定されます。

show svcs domain

Cisco Nexus 1010 の次のドメイン情報を表示するには、**show svcs domain** コマンドを使用します。

- ドメイン ID
- コントロール VLAN ID
- 管理 VLAN ID

show svcs domain

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM ドメインの設定を表示する例を示します。

```
n1010# show svcs domain
SVS domain config:
  Domain id: 3555
  Control vlan: 305
  Management vlan: 233
  L2/L3 Control mode: L2
  L3 control interface: NA
  Status: Config not pushed to VC.
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
svcs-domain	Cisco Nexus 1000V のドメインを作成および設定します。ドメインによって、通信および管理のための VSM と VEM およびコントロール/パケット VLAN が特定されます。

show system resources

システム関連の CPU およびメモリの統計情報を表示するには、**show system resources** コマンドを使用します。

show system resources

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、システム関連の CPU およびメモリの統計情報を表示する例を示します。

```
n1010# show system resources
Load average:  1 minute: 0.00   5 minutes: 0.00   15 minutes: 0.00
Processes   :  261 total, 1 running
CPU states  :  0.0% user,  0.0% kernel,  100.0% idle
Memory usage: 2075012K total,  946780K used,  1128232K free
              66764K buffers,  475404K cache

n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show module	モジュール情報を表示します。
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show processes	すべてのプロセスの状態と開始カウントを表示します。

show tacacs-server

TACACS+ サーバ情報を表示するには、**show tacacs-server** コマンドを使用します。

show tacacs-server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

グローバル共有キーは実行コンフィギュレーションに暗号化形式で保存されます。キーを表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

例

次に、TACACS+ サーバの設定を表示する例を示します。

```
n1010# show tacacs-server
Global TACACS+ shared secret:*****
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:1
following TACACS+ servers are configured:
10.10.2.2:
available on port:49
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tacacs-server	TACACS+ サーバの設定を表示します。
tacacs+ enable	TACACS+ をイネーブルにします。
tacacs-server key	Cisco Nexus 1000V と TACACS+ サーバ ホストの間で共有されるグローバル キーを指定します。

show tcp client

TCP クライアントに関する情報を表示するには、**show tcp client** コマンドを使用します。

show tcp client [pid pid] [detail]

構文の説明

pid	(任意) クライアントプロセスに関する情報を指定します。
pid	指定したクライアントプロセスの ID を指定します。
detail	(任意) ソケットの詳細を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、TCP クライアントに関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show tcp client
Total number of clients: 12
Total number of cancels: 255372
client: syslogd, pid: 2962, sockets: 2
client: ntp, pid: 3148, sockets: 2
client: dcos-xinetd, pid: 3156, sockets: 2
client: snmpd, pid: 3150, sockets: 4
client: ntpd, pid: 3243, sockets: 3
client: dcos-thttpd, pid: 3305, sockets: 2
client: radiusd, pid: 3143, sockets: 2
client: vms, pid: 3318, sockets: 0
client: dcos_sshd, pid: 3491, sockets: 3
client: vsh, pid: 3494, sockets: 0
client: in.dcos-telnetd, pid: 25028, sockets: 3
client: vsh, pid: 25029, sockets: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tcp connection	TCP 接続に関する情報を表示します。
show tcp statistics	TCP プロトコル統計情報を表示します。

show tcp connection

接続に関する情報を表示するには、**show tcp connection** コマンドを使用します。

```
show tcp connection [pid pid | tcp | udp | raw] [local {srcIP | srcIP6}] [foreign {dstIP | dstIP6}]
[detail]
```

構文の説明

pid	(任意) クライアント プロセスの接続ステータスを指定します。
<i>pid</i>	クライアント プロセスの接続ステータスの ID を指定します。
tcp	(任意) すべての TCP 接続を指定します。
udp	(任意) すべての UDP 接続を指定します。
raw	(任意) すべての RAW 接続を指定します。
local	(任意) 特定のローカルアドレスですべての TCP 接続を指定します。
<i>srcIP</i>	A.B.C.D の形式でローカル IP アドレスを指定します。
<i>srcIP6</i>	A:B::C:D の形式でローカル IP アドレスを指定します。
foreign	(任意) 特定の外部アドレスですべての TCP 接続を指定します。
<i>dstIP</i>	A.B.C.D の形式で宛先 IP アドレスを指定します。
<i>dstIP6</i>	A:B::C:D の形式で宛先 IP アドレスを指定します。
detail	(任意) 詳細な接続情報を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、接続に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
n1010# show tcp connection detail
Total number of tcp sockets: 8
Active connections (including servers)
Local host: * (22), Foreign host: * (0)
  Protocol: tcp6, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 6
  Options: none, state:
  Receive buffer:
    cc: 0, hiwat: 25300, lowat: 1, flags: none
  Send buffer:
    cc: 0, hiwat: 25300, lowat: 2048, flags:
  Sequence number state:
    iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
    irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 1012
  Timing parameters:
```

```
    srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
    rttmin: 1000 ms, mss: 1012, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: * (23), Foreign host: * (0)
Protocol: tcp6, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 17
Options: none, state:
Receive buffer:
    cc: 0, hiwat: 17204, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
    cc: 0, hiwat: 17204, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
    iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
    irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 1012
Timing parameters:
    srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
    rttmin: 1000 ms, mss: 1012, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: * (80), Foreign host: * (0)
Protocol: tcp6, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 13
Options: none, state: none
Receive buffer:
    cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
    cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
    iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
    irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 1073725440
Timing parameters:
    srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
    rttmin: 1000 ms, mss: 1024, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: * (80), Foreign host: * (0)
Protocol: tcp, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 14
Options: none, state: none
Receive buffer:
    cc: 0, hiwat: 16500, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
    cc: 0, hiwat: 16500, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
    iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
    irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 500
Timing parameters:
    srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
    rttmin: 1000 ms, mss: 500, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: * (161), Foreign host: * (0)
Protocol: tcp, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 3
Options: none, state: none
Receive buffer:
    cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
    cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 2048, flags:
```

```
Sequence number state:
  iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
  irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 512
Timing parameters:
  srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
  rttmin: 1000 ms, mss: 512, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: * (161), Foreign host: * (0)
Protocol: tcp6, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 5
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 16384, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
  iss: 0, snduna: 0, sndnxt: 0, sndwnd: 0
  irs: 0, rcvnxt: 0, rcvwnd: 0, sndcwnd: 1073725440
Timing parameters:
  srtt: 0 ms, rtt: 0 ms, rttv: 12000 ms, krtd: 3000 ms
  rttmin: 1000 ms, mss: 1024, duration: 1390144100 ms
State: LISTEN
Flags: none
Context: management

Local host: 10.10.233.74 (22), Foreign host: 10.10.185.189 (48131)
Protocol: tcp, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 20
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 17500, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 17500, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
  iss: 3575780911, snduna: 3576001996, sndnxt: 3576001996, sndwnd: 32767
  irs: 905490047, rcvnxt: 905574926, rcvwnd: 17500, sndcwnd: 1953
Timing parameters:
  srtt: 700 ms, rtt: 0 ms, rttv: 0 ms, krtd: 1000 ms
  rttmin: 1000 ms, mss: 500, duration: 1390101600 ms
State: ESTABLISHED
Flags: none
Context: management

Local host: 10.10.233.74 (23), Foreign host: 10.10.22.107 (35030)
Protocol: tcp, type: stream, ttl: 64, tos: 0, Id: 18
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 17500, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 17500, lowat: 2048, flags:
Sequence number state:
  iss: 3273730667, snduna: 3273793065, sndnxt: 3273793065, sndwnd: 32767
  irs: 3760023047, rcvnxt: 3760024636, rcvwnd: 17500, sndcwnd: 25095
Timing parameters:
  srtt: 700 ms, rtt: 0 ms, rttv: 0 ms, krtd: 1000 ms
  rttmin: 1000 ms, mss: 500, duration: 467168700 ms
State: ESTABLISHED
Flags: none
Context: management

Total number of udp sockets: 11
Active connections (including servers)
Local host: * (123), Foreign host: * (0)
```

```
Protocol: udp6, type: dgram, ttl: 64, tos: 0, Id: 11
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 42240, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 9216, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: * (123), Foreign host: * (0)
Protocol: udp, type: dgram, ttl: 64, tos: 0x10, Id: 10
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 42240, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 9216, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: * (161), Foreign host: * (0)
Protocol: udp, type: dgram, ttl: 64, tos: 0, Id: 1
Options: none, state:
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 131072, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 131072, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: * (161), Foreign host: * (0)
Protocol: udp6, type: dgram, ttl: 64, tos: 0, Id: 2
Options: none, state:
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 131072, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 131072, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: 127.0.0.1 (123), Foreign host: * (0)
Protocol: udp, type: dgram, ttl: 64, tos: 0x10, Id: 12
Options: none, state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 42240, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 9216, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: 127.0.0.1 (130), Foreign host: * (0)
Protocol: udp, type: dgram, ttl: 64, tos: 0, Id: 9
Options: none, state:
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 42240, lowat: 1, flags: none
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 9216, lowat: 2048, flags:
Context: management

Local host: 127.0.0.1 (27613), Foreign host: 127.0.0.1 (123)
Protocol: udp, type: dgram, ttl: 64, tos: 0, Id: 8
Options: , state: none
Receive buffer:
  cc: 0, hiwat: 42240, lowat: 1, flags:
Send buffer:
  cc: 0, hiwat: 9216, lowat: 2048, flags:
Context: management

Total number of raw sockets: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tcp client	TCP クライアントに関する情報を表示します。
show tcp statistics	TCP プロトコル統計情報を表示します。
show telnet server	Telnet サーバの設定を表示します。

show tcp statistics

TCP プロトコル統計情報を表示するには、**show tcp statistics** コマンドを使用します。

show tcp statistics [all | tcp4 | tcp6 | tcpsum | udp4 | udp6 | udpsum | raw4 | raw6 | rawsum]

構文の説明

all	(任意) TCPv4、TCPv6、UDPv4、UDPv6、RAWv4、および RAWv6 のすべてのプロトコル統計情報を指定します。
tcp4	(任意) TCPv4 プロトコル統計情報を指定します。
tcp6	(任意) TCPv6 プロトコル統計情報を指定します。
tcpsum	(任意) TCPv4 と TCPv6 プロトコル統計情報の合計を指定します。
udp4	(任意) UDPv4 プロトコル統計情報を指定します。
udp6	(任意) UDPv6 プロトコル統計情報を指定します。
udpsum	(任意) UDPv4 と UDPv6 プロトコル統計情報の合計を指定します。
raw4	(任意) RAWv4 プロトコル統計情報を指定します。
raw6	(任意) RAWv6 プロトコル統計情報を指定します。
rawsum	(任意) RAWv4 と RAWv6 プロトコル統計情報の合計を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、TCP プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
n1010# show tcp statistics
TCP Received:
  479908 packets total
  0 checksum error, 0 bad offset, 0 too short, 0 MD5 error
  232451 packets (72213943 bytes) in sequence
  195 duplicate packets (192 bytes)
  0 partially dup packets (0 bytes)
  8652 out-of-order packets (0 bytes)
  0 packets (0 bytes) with data after window
  2 packets after close
  0 window probe packets, 0 window update packets
  44339 duplicate ack packets, 0 ack packets with unsent data
  252581 ack packets (103465405 bytes)
TCP Sent:
  533421 total, 0 urgent packets
  94694 control packets
  326430 data packets (105082025 bytes)
```



```
90 data packets (22114 bytes) retransmitted
105144 ack only packets
34 window probe packets, 7029 window update packets
TCP:
44330 connections initiated, 6715 connections accepted, 50669 connections established
51045 connections closed (including 165 dropped, 376 embryonic dropped)
3067 total rxmt timeout, 0 connections dropped in rxmt timeout
463 keepalive timeout, 92 keepalive probe, 371 connections dropped in keepalive
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tcp client	TCP クライアントに関する情報を表示します。
show tcp connection	TCP 接続に関する情報を表示します。

show tech-support

Cisco TAC のスイッチ情報を収集して問題の診断に役立てるには、**show tech-support** コマンドを使用します。

```
show tech-support {nexus1010 | ipv6 | svcs | aaa}
```

構文の説明		
	nexus1010	Cisco Nexus 1010 に関するテクニカル サポート情報を収集します。
	ipv6	IPv6 スタティック ルートおよびトラフィック統計情報などの IPv6 情報を表示します。
	svcs	インターフェイスおよびソフトウェアの設定などの SVS 情報を表示します。
	aaa	認証、許可、アカウントिंग (AAA) イベントおよび統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、IPv6 に関する Cisco TAC のスイッチ情報を収集する例を示します。

```
n1010# show tech-support nexus1010
`show hardware`
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

Software
  loader:      version unavailable [last: image booted through mgmt0]
  kickstart:  version 4.0(4)SP1(1)
  system:     version 4.0(4)SP1(1)
  kickstart image file is:
  kickstart compile time:  4/4/2010 22:00:00
  system image file is:    bootflash:/nexus-1010-mz.4.0.4.SP1.1.bin
  system compile time:     4/4/2010 22:00:00 [04/05/2010 11:15:52]

Hardware
  Cisco Nexus 1010 Chassis ("Cisco Nexus1010 Chassis")
```

```

with 14666752 kB of memory.
Device name: cppa-mgr
bootflash: 3897832 kB
Disk Storage capacity for VM virtual disks: 346335 GB
Number of physical 1Gbps ethernet ports: 6
Number of CPU Cores: 12
CPU Cores details:
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz
model name : Intel(R) Xeon(R) CPU E5520 @ 2.27GHz

Kernel uptime is 2 day(s), 15 hour(s), 25 minute(s), 34 second(s)

plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin
-----
Switch hardware ID information
-----

Switch is booted up
Switch type is : Nexus 1010 Chassis
Model number is Nexus 1010
Manufacture date is 03/09/2010
PID-VID-SN: R200-1120402-.-3536887121268865265
UUID is 208F4277-020F-BADB-ADBE-A80000DEAD00

-----
Chassis has 2 Module slots
-----

Module1 ok
Module type is : Cisco Nexus1010 Chassis
0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is .
Manufacture Date is Year 0 Week 3
Serial number is T023D741D01

Module2 ok
Module type is : Cisco Nexus1010 Chassis
0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is .
Manufacture Date is Year 0 Week 3
Serial number is T023D741D81

`show system internal resources`
Load Average: 1 minute: 0.07 5 minutes: 0.02 15 minutes: 0.00
Processes : 168 total, 1 running
CPU States : 0.2 user, 0.0 kernel, 99.8 idle
Memory Usage: 16323844K total, 2605340K used, 13718504K free
416K buffers, 518240K cache
Repository : 121115568K total, 554484K used (1-percent), 114457188K free

```

```
Storage      : 362335928K total, 983828K used (1-percent), 343091420K free
`show virtual-service-blade summary`
```

```
-----
Name          Role      State          Nexus1010-Module
-----
vsm-1         PRIMARY  VSB POWERED ON  Nexus1010-PRIMARY
vsm-1         SECONDARY VSB POWERED ON  Nexus1010-SECONDARY
```

```
`show virtual-service-blade `
virtual-service-blade vsm-1
```

```
Description:
Slot id:      1
Host Name:    vsm-1
Management IP: 10.78.108.40
VSB Type Name : VSM-1.0
Interface:    control   vlan: 1044
Interface:    management vlan: 1032
Interface:    packet    vlan: 1045
Interface:    internal  vlan:  NA
Ramsize:      2048
Disksize:     3
Heartbeat:    127579
HA Admin role: Primary
  HA Oper role: STANDBY
  Status:      VSB POWERED ON
  Location:    PRIMARY
  SW version:  4.0(4)SP1(1)
HA Admin role: Secondary
  HA Oper role: ACTIVE
  Status:      VSB POWERED ON
  Location:    SECONDARY
  SW version:  4.0(4)SP1(1)
VSB Info:
  Domain ID : 1054
```

```
`show network`
```

```
GigabitEthernet1 is up
Hardware: Ethernet, address: 0022.bdcf.cfde (bia 0022.bdcf.cfde)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
  474204 packets input, 76658996 bytes
  13376 multicast frames, 0 compressed
  0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
  2 packets output, 168 bytes
  0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
  0 fifo, 0 carrier errors
```

```
GigabitEthernet2 is up
Hardware: Ethernet, address: 0022.bdcf.cfde (bia 0022.bdcf.cfde)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
  5616986 packets input, 695991717 bytes
  3651124 multicast frames, 0 compressed
  0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
  2019700 packets output, 536582585 bytes
  0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
  0 fifo, 0 carrier errors
```

```
GigabitEthernet3 is up
Hardware: Ethernet, address: 0010.185b.fdd8 (bia 0010.185b.fdd8)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
    8709 packets input, 1087172 bytes
    7622 multicast frames, 0 compressed
    0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
    7622 packets output, 975374 bytes
    0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
    0 fifo, 0 carrier errors

GigabitEthernet4 is up
Hardware: Ethernet, address: 0010.185b.fdd8 (bia 0010.185b.fdd8)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
    8711 packets input, 1087000 bytes
    7617 multicast frames, 0 compressed
    0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
    7617 packets output, 974976 bytes
    0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
    0 fifo, 0 carrier errors

GigabitEthernet5 is up
Hardware: Ethernet, address: 0010.185b.fdd8 (bia 0010.185b.fdd8)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
    8861 packets input, 1097728 bytes
    7616 multicast frames, 0 compressed
    0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
    7616 packets output, 974848 bytes
    0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
    0 fifo, 0 carrier errors

GigabitEthernet6 is up
Hardware: Ethernet, address: 0010.185b.fdd8 (bia 0010.185b.fdd8)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
    8863 packets input, 1097612 bytes
    7616 multicast frames, 0 compressed
    0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
    7616 packets output, 974848 bytes
    0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
    0 fifo, 0 carrier errors

PortChannell is up
Hardware: Ethernet, address: 0022.bdcf.cfde (bia 0022.bdcf.cfde)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
    6091191 packets input, 772651337 bytes
```

```
3664500 multicast frames, 0 compressed
0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
2019702 packets output, 536582753 bytes
0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
0 fifo, 0 carrier errors

PortChannel2 is up
Hardware: Ethernet, address: 0010.185b.fdd8 (bia 0010.185b.fdd8)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
 35144 packets input, 4369512 bytes
 30471 multicast frames, 0 compressed
 0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
 30471 packets output, 3900046 bytes
 0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
 0 fifo, 0 carrier errors

VbEthernet1/1 is up
Hardware: Ethernet, address: 0002.3d74.1d83 (bia 0002.3d74.1d83)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
 1007113 packets input, 267568821 bytes
 0 multicast frames, 0 compressed
 0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
 1091173 packets output, 236791139 bytes
 0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
 0 fifo, 0 carrier errors

VbEthernet1/2 is up
Hardware: Ethernet, address: 0002.3d74.1d82 (bia 0002.3d74.1d82)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
 2634 packets input, 525675 bytes
 0 multicast frames, 0 compressed
 0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
 117582 packets output, 7936300 bytes
 0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
 0 fifo, 0 carrier errors

VbEthernet1/3 is up
Hardware: Ethernet, address: 0002.3d74.1d84 (bia 0002.3d74.1d84)
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 1000 Mb/s
Auto-Negotiation is turned on
 0 packets input, 0 bytes
 0 multicast frames, 0 compressed
 0 input errors, 0 frame, 0 overrun, 0 fifo
 113563 packets output, 7268200 bytes
 0 underrun, 0 output errors, 0 collisions
 0 fifo, 0 carrier errors

`show redundancy status`
Redundancy mode
```

```

-----
      administrative:  HA
      operational:    HA

This supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state: Active
      Supervisor state: Active
      Internal state:   Active with HA standby

Other supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state: Standby

      Supervisor state: HA standby
      Internal state:   HA standby

System start time:           Wed Mar 17 23:17:15 2010

System uptime:               2 days, 15 hours, 26 minutes, 41 seconds
Kernel uptime:              2 days, 15 hours, 26 minutes, 26 seconds
Active supervisor uptime:    1 days, 11 hours, 27 minutes, 17 seconds
`show system internal redundancy status`
MyState:RDN_ST_AC
Other State:RDN_ST_SB
Other state from reg:RDN_ST_SB(3)
State:RDN_DRV_ST_AC_SB
Slot:2
Num failures to send MTS message:0
`show system internal redundancy info`
My CP:
  slot: 1
  domain: 1053
  role: secondary
  status: RDN_ST_AC
  state: RDN_DRV_ST_AC_SB
  intr: enabled
  power_off_reqs: 0
  reset_reqs: 1
Other CP:
  slot: 0
  status: RDN_ST_SB
  active: true
  ver_rcvd: true
  degraded_mode: false
Redun Device 0:
  name: ha0
  pdev: eda54240
  alarm: false
  mac: 00:02:3d:74:1d:00
  tx_set_ver_req_pkts: 291
  tx_set_ver_rsp_pkts: 3
  tx_heartbeat_req_pkts: 127356
  tx_heartbeat_rsp_pkts: 100709
  rx_set_ver_req_pkts: 3
  rx_set_ver_rsp_pkts: 0
  rx_heartbeat_req_pkts: 100709
  rx_heartbeat_rsp_pkts: 127349
  rx_drops_wrong_domain: 0
  rx_drops_wrong_slot: 0
  rx_drops_short_pkt: 0
  rx_drops_queue_full: 0
  rx_drops_inactive_cp: 0
  rx_drops_bad_src: 0

```

```

    rx_drops_not_ready:    0
    rx_unknown_pkts:      0
Redun Device 1:
  name: hal
  pdev: ed9d3ac0
  alarm: true
  mac: ff:ff:ff:ff:ff:ff
  rx_unknown_pkts:      0
Redun Device 1:
  name: hal
  pdev: ed9d3ac0
  alarm: true
  mac: ff:ff:ff:ff:ff:ff
  tx_set_ver_req_pkts:  281
  tx_set_ver_rsp_pkts:   1
  tx_heartbeat_req_pkts: 3
  tx_heartbeat_rsp_pkts: 1
  rx_set_ver_req_pkts:   1
  rx_set_ver_rsp_pkts:   0
  rx_heartbeat_req_pkts: 1
  rx_heartbeat_rsp_pkts: 0
  rx_drops_wrong_domain: 0
  rx_drops_wrong_slot:  0
  rx_drops_short_pkt:   0
  rx_drops_queue_full:  0
  rx_drops_inactive_cp: 0
  rx_drops_bad_src:     0
  rx_drops_not_ready:   0
  rx_unknown_pkts:      0
n1010#

```

関連コマンド

コマンド	説明
logging logfile	システム メッセージの保存に使用するログ ファイルを設定します。
show logging logfile	ログ ファイルの内容を表示します。

show telnet server

Telnet サーバの情報を表示するには、**show telnet server** コマンドを使用します。

show telnet server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Telnet サーバの設定を表示する例を示します。

```
n1010# show telnet server
telnet service enabled
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tcp connection	接続に関する情報を表示します。
telnet	Telnet を使用して別のシステムに接続します。

show terminal

現在のセッションの端末設定を表示するには、**show terminal** コマンドを使用します。

show terminal

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在のセッションの端末設定を表示する例を示します。

```
n1010# show terminal
TTY: /dev/pts/8 type: "vt100"
Length: 24 lines, Width: 88 columns
Session Timeout: None
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
line console	コンソール コンフィギュレーション モードに切り替えます。
line vty	ライン コンフィギュレーション モードに切り替えます。
terminal length	画面上の行の数を設定します。
terminal terminal-type	端末タイプを設定します。
terminal width	表示端末の幅を設定します。

show user-account

ユーザ アカウント設定を表示するには、**show user-account** コマンドを使用します。

show user-account [*username*]

構文の説明	<i>username</i> (任意) 既存のアカウントでユーザの名前を指定します。						
デフォルト	なし						
コマンドモード	任意のコマンドモード						
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(4)SP1(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。		
リリース	変更内容						
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。						
例	<p>次に、NewUser という名前のユーザのユーザ アカウント設定を表示する例を示します。</p> <pre>n1010(config)# show user-account NewUser user:NewUser this user account has no expiry date roles:network-operator network-admin n1010(config)#</pre>						
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>role name</td> <td>ユーザ ロールに名前をつけて、そのロールのロール コンフィギュレーション モードに切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>show users</td> <td>システムにログインしている現在のユーザを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	role name	ユーザ ロールに名前をつけて、そのロールのロール コンフィギュレーション モードに切り替えます。	show users	システムにログインしている現在のユーザを表示します。
コマンド	説明						
role name	ユーザ ロールに名前をつけて、そのロールのロール コンフィギュレーション モードに切り替えます。						
show users	システムにログインしている現在のユーザを表示します。						

show users

ユーザセッションに関する情報を表示するには、**show users** コマンドを使用します。

show users

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ユーザセッションに関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     pts/17    Dec 16 06:37  .           30406 (172.28.254.254) session=ss

h
admin     pts/18    Jan  3 19:01  .           3847 (sjc-vpn5-786.cisco.com) *
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	ユーザロールに名前をつけて、そのロールのロールコンフィギュレーションモードに切り替えます。
show user-account	新しいユーザアカウントの設定を表示します。

show version

現在スイッチで動作しているシステム ソフトウェアとハードウェアのバージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

show version [module]

構文の説明

module (任意) モジュールのソフトウェア バージョンを指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在スイッチで動作しているシステム ソフトウェアとハードウェアのバージョンを表示する例を示します。

```
n1010# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2009, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

Software
  loader:    version 1.2(2) [last: image booted through mgmt0]
  kickstart: version 4.0(4)SP1(1)
  system:    version 4.0(4)SP1(1)
  kickstart image file is:
  kickstart compile time:  9/22/2009 2:00:00
  system image file is:    bootflash:/nexus-1000v-mz.4.0.4.SV1.2.bin
  system compile time:     9/22/2009 2:00:00 [10/07/2009 10:11:01]

Software
  loader:    version 1.2(2) [last: image booted through mgmt0]
  kickstart: version 4.0(4)SP1(1)
  system:    version 4.0(4)SP1(1)
  kickstart image file is:
  kickstart compile time:  9/22/2009 2:00:00
```

■ show version

```

system image file is:   bootflash:/nexus-1000v-mz.4.0.4.SV1.2.bin
system compile time:   9/22/2009 2:00:00 [10/07/2009 10:11:01]

Hardware
Cisco Nexus 1000V Chassis ("Virtual Supervisor Module")
Intel(R) Xeon(R) CPU           with 2075012 kB of memory.
Processor Board ID T5056B645A8

Device name: n1000v
bootflash:    2332296 kB

Kernel uptime is 79 day(s), 0 hour(s), 24 minute(s), 55 second(s)

plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin
n1010#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config diff	スイッチ上の現在のスタートアップ コンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションの差を表示します。
show version image	現在スイッチで動作しているシステム ソフトウェアとハードウェアのバージョンを表示します。

show version image

特定のイメージのソフトウェア バージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

```
show version image {bootflash: URI | volatile: URI}
```

構文の説明

bootflash:	bootflash をディレクトリ名として指定します。
<i>URI</i>	イメージが存在するシステムの URI を指定します。
volatile:	volatile をディレクトリ名として指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在スイッチで動作しているシステム ソフトウェアとハードウェアのバージョンを表示する例を示します。

```
n1010# show version image bootflash:isan.bin
  image name: nexus-1000v-mz.4.0.4.SV1.1.bin
  bios: version unavailable
  system: version 4.0(4)SV1(1)
  compiled: 4/2/2009 23:00:00 [04/23/2009 09:55:29]
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config diff	スイッチ上の現在のスタートアップ コンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションの差を表示します。
show version	特定のイメージのソフトウェア バージョンを表示します。

show virtual-service-blade

仮想サービスに関する情報を表示するには、**show virtual-service-blade** コマンドを使用します。

show virtual-service-blade [*name vsb-name* | *summary*]

構文の説明

name	仮想サービスの名前を指定します。
<i>vsb-name</i>	既存の仮想サービスの名前を指定します。
summary	ロール、状態、モジュールなどのすべての仮想サービスに関する要約を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(3)	このコマンドは VSBEthernet 情報、VLAN とインターフェイスのステータスの詳細を含むように変更されました。
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM-1 という名前の仮想サービスに関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-blade name VSM1
virtual-service-blade VSM1
  Description:
  Slot id:      1
  Host Name:    VSM1
  Management IP:
  VSB Type Name : VSM-1.1
  vCPU:         1
  Ramsize:      2048
  Disksize:     3
  Heartbeat:    14514
  HA Admin role: Primary
    HA Oper role: NONE
    Status:       VSB POWERED OFF
    Location:     PRIMARY
    SW version:   4.2(1)SV1 (4a)
  VsbEthernet1/1/1: control  vlan: 1306  state: up
  VsbEthernet1/1/2: management vlan: 1304  state: up
  VsbEthernet1/1/3: packet   vlan: 1307  state: up
  Interface:      internal  vlan: NA    state: up
  HA Admin role: Secondary
    HA Oper role: NONE
    Status:       VSB POWERED OFF
    Location:     SECONDARY
    SW version:
  VsbEthernet2/1/1: control  vlan: 1306  state: up
  VsbEthernet2/1/2: management vlan: 1304  state: up
  VsbEthernet2/1/3: packet   vlan: 1307  state: up
  Interface:      internal  vlan: NA    state: up
  VSB Info:
    Domain ID : 1306
n1010#
```

次に、すべての仮想サービス ブレード設定の概要を表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
vsm-1                PRIMARY    VSB POWERED ON      Nexus1010-PRIMARY
vsm-1                SECONDARY  VSB POWERED ON      Nexus1010-SECONDARY
vsm-2                PRIMARY    VSB NOT PRESENT     Nexus1010-PRIMARY
vsm-2                SECONDARY  VSB POWERED ON      Nexus1010-SECONDARY
vsm-3                PRIMARY    VSB NOT PRESENT     Nexus1010-PRIMARY
vsm-3                SECONDARY  VSB POWERED ON      Nexus1010-SECONDARY
vsm-4                PRIMARY    VSB POWERED ON      Nexus1010-PRIMARY
vsm-4                SECONDARY  VSB POWERED ON      Nexus1010-SECONDARY
vsm-5                PRIMARY    VSB POWERED OFF     Nexus1010-PRIMARY
vsm-5                SECONDARY  VSB POWERED OFF     Nexus1010-SECONDARY
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show virtual-service-blade-type summary	すべての仮想サービスの設定（Virtual Supervisor Module (VSM) または Network Analysis and Monitoring (NAM)）の要約をタイプごとに表示します。

show virtual-service-blade-type summary

すべての仮想サービスの設定（Virtual Supervisor Module（VSM）または Network Analysis and Monitoring（NAM））の要約をタイプごとに表示するには、**show virtual-service-blade-type summary** コマンドを使用します。

show virtual-service-blade-type summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、すべての仮想サービスの設定の要約をタイプごとに表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-blade-type summary
```

```
-----
Virtual-Service-Blade-Type   Virtual-Service-Blade
-----
VSM_SV1_3                    VSM-1
                               VSM-2
                               VSM-3
                               VSM-4
NAM-MV                        NAM
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show virtual-service-blade	仮想サービスに関する情報を表示します。

show virtual-service-blade statistics

仮想サービス ブレードの統計情報に関する情報を表示するには、**show virtual-service-blade statistics** コマンドを使用します。

show virtual-service-blade [name vsb-name] statistics

構文の説明

name	仮想サービス ブレードの名前を指定します。
vsb-name	既存の仮想サービス ブレードの名前を指定します。
statistics	各 VSB に対して、CPU の現在の使用状態、メモリ、最後のレポートの時間、レポートの回数、最後に受信された最後のハート ビートのタイムスタンプといった、実行中のすべての仮想サービス ブレードに関する統計情報を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SP1(5.1)	このコマンドが追加されました。

例

次の例に、VSB の統計情報に関する情報を表示する方法を示します。

```
switch# show virtual-service-blade name VSM statistics

virtual-service-blade: VSM
  Virtual Memory: 2297m
  Physical Memory: 1.1g
  CPU Usage Percentage: 4.0
  Up Since: Mon Sep 10 16:05:21 2012
  Number of Restarts: 1
  Last heartbeat received at: Thu Sep 13 09:11:17 2012
```

関連コマンド

コマンド	説明
show network	ネットワークに関する情報を表示します。
show virtual-service-blade-type summary	すべての仮想サービスの設定（Virtual Supervisor Module（VSM）または Network Analysis and Monitoring（NAM））の要約をタイプごとに表示します。

show virtual-service-domain brief

Virtual Supervisor Module (VSM) 内で現在設定済みの Virtual Service Domain (VSD; 仮想サービスドメイン) のリスト (VSD の名前およびポート プロファイルを含む) を表示するには、**show virtual-service-domain brief** コマンドを使用します。

show virtual-service-domain brief

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM で現在設定済みの VSD のリストを表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-domain brief
Name          default action  in-ports  out-ports  mem-ports
vsd1          drop            1          1           4
vsd2          forward         1          1           0
vsim-cp# sho virtual-service-domain interface
-----
Name          Interface      Type      Status
-----
vsd1          Vethernet1    Member    Active
vsd1          Vethernet2    Member    Active
vsd1          Vethernet3    Member    Active
vsd1          Vethernet6    Member    Active
vsd1          Vethernet7    Inside    Active
vsd1          Vethernet8    Outside   Active
vsd2          Vethernet9    Inside    Active
vsd2          Vethernet10   Outside   Active
vsim-cp# show virtual-service-domain name vsd1
Default Action: drop

Interface      Type
-----
Vethernet1    Member
Vethernet2    Member
Vethernet3    Member
Vethernet6    Member
Vethernet7    Inside
Vethernet8    Outside

n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
virtual-service-domain	ネットワーク サービスのトラフィックを分類して分離するための Virtual Service Domain (VSD; 仮想サービス ドメイン) を作成します。

show virtual-service-domain interface

Virtual Supervisor Module (VSM) 内の Virtual Service Domain (VSD; 仮想サービス ドメイン) に現在割り当てられているインターフェイスを表示するには、**show virtual-service-domain interface** コマンドを使用します。

show virtual-service-domain interface

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM 内の VSD に現在割り当てられているインターフェイスを表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-domain interface
```

Name	Interface	Type	Status
vsd1	Vethernet1	Member	Active
vsd1	Vethernet2	Member	Active
vsd1	Vethernet3	Member	Active
vsd1	Vethernet6	Member	Active
vsd1	Vethernet7	Inside	Active
vsd1	Vethernet8	Outside	Active
vsd2	Vethernet9	Inside	Active
vsd2	Vethernet10	Outside	Active

関連コマンド

コマンド	説明
virtual-service-domain	ネットワーク サービスのトラフィックを分類して分離するための仮想サービス ドメインを作成します。

show virtual-service-domain name

Virtual Supervisor Module (VSM) 内で現在設定済みの特定の Virtual Service Domain (VSD; 仮想サービス ドメイン) に関する、関連付けられたポート プロファイルなどの情報を表示するには、**show virtual-service-domain name** コマンドを使用します。

```
show virtual-service-domain name virtual-service-domain_name
```

構文の説明

virtual-service-domain_name VSD の名前です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、特定の VSD の設定を表示する例を示します。

```
n1010# show virtual-service-domain name vsd1
Default Action: drop
```

Interface	Type
Vethernet1	Member
Vethernet2	Member
Vethernet3	Member
Vethernet6	Member
Vethernet7	Inside
Vethernet8	Outside

```
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
virtual-service-domain	ネットワーク サービスのトラフィックを分類して分離するための仮想サービス ドメインを作成します。

show xml server status

XML サーバ設定およびアクティブなすべての XML サーバセッションに関する情報を表示するには、**show xml server status** コマンドを使用します。

show xml server status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、XML サーバ設定およびアクティブなすべての XML サーバセッションに関する情報を表示する例を示します。

```
n1010# show xml server status
operational status is enabled
maximum session configured is 8
n1010#
```

関連コマンド

コマンド	説明
xml server max-session	許容される XML サーバのセッション数を設定します。
xml server terminate session	指定した XML サーバセッションを終了します。